

日本動物学会・九州沖縄植物学会・日本生態学会・沖縄生物学会 合同沖縄例会

4学会合同公開シンポジウム

「おきなわの自然が盗まれる！」

(共催 環境省沖縄奄美自然環境事務所)
コンビナー: 傳田哲郎、伊澤雅子(琉球大・理)

日時: 5月25日 16:00 - 17:30

場所: 名桜大学 学生会館 サクラリウム3階 A会場

豊かな自然に恵まれた琉球列島の島々。生物多様性が特に高い地域として世界自然遺産の候補地にも挙げられ、その自然の重要性が世界中から注目されています。しかしながら、現在この地域の貴重な生物多様性は、様々な要因によって危機にさらされています。その一つが、希少な動植物の違法な採集や持ち出しです。密猟や密輸出の問題は、これまで噂の域を出ず、あまり社会の注目を集めることはありませんでした。しかし、昨年末に国指定の天然記念物であるリュウキュウヤマガメの密輸出事件が発覚したことを受けてクローズアップされ、その対策が急がれています。このシンポジウムでは、こうした密猟・密輸出の実態について広く知っていただくため、その現状や問題点、防止に向けた取組みなどについて紹介します。

「密猟・密輸出の現状と対策」

東岡 礼治(環境省沖縄奄美自然環境事務所)

「沖縄における昆虫類の違法採集」

佐々木 健志(琉球大学博物館・風樹館)

問い合わせ先(大会長:新垣裕治まで):

0980-51-1081(研究室)、代表 0980-51-1100(代表)、okibio2019@meio-u.ac.jp